

YOKOSHIN NEWS

令和2年9月24日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—2020年7～9月期実績、2020年10～12月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

今期は全ての業種で前期より持ち直し、来期は改善するも低調の見込み

- 今期（2020年7～9月期）の全業種総合業況判断DIは、前期比9.6ポイント上昇の-43.6と前期より持ち直した。来期は、今期比6.7ポイント上昇の-36.9と低調な推移を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比3.8ポイント上昇の-50.4となった。来期は、今期比9.8ポイント上昇の-40.6を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比12.4ポイント上昇の-40.3となった。来期は、今期比5.3ポイント上昇の-35.0を見込んでいる。

【特別調査】「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について」

- 売上高がコロナ前の水準に回復する時期 「2021年度中」（38.1%）
- 出社を必要としない就労形態の実施状況 「実施していない」（77.2%）
- 雇用ならびに1人当たり支給額に関する方針
 - ・「雇用・支給額とも維持・増加する」（正規社員 70.5%、非正規社員 67.9%）
- 今後の事業の見直し
 - ・「職場環境（3密防止など）」（31.2%）
 - ・「勤務時間・勤務方法」（31.1%）
- 営業拡大の観点で実施・検討していること
 - ・「実施・検討していない」（32.5%）
 - ・「新しい顧客の開拓」（28.4%）
 - ・「営業方法の模索」（20.8%）

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）775先 有効回答数：761先
調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和2年9月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒[景気動向調査](#)」をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先 経営企画部：望月、汐見 電話：045-680-6912



横浜信用金庫